

# 産科医派遣 病院を集約

## 熊本大 医師不足 若手教育背景に

終える一方、同市の熊本総合病院に追加派遣することを決めた。深刻な産科医不足を背景に医師の派遣先を総合病院に絞り、拠点性を高める判断をした。

### 【1面参照】

熊本大病院は現在、両病院に複数の産婦人科医を派遣。しかし、医局内は慢性的な医師不足に陥っており、人繰りが難しい状況が続いていたという。集約先を検討した結果、

これまで労災病院で出産を担ってきたベテラン医師が総合病院に移ったことや、婦人科での腹腔鏡手術などの症例数、若手医師の教育機能などの点から総合病院を選択した。熊本大病院の近藤英治教授は「若い医師が専門医の経験を積む環境として、総合病院が適切と判断した」と説明する。

一方、総合病院には産科とともに周産期医療の両輪となる小児科がない。さら

に、ハイリスク妊婦の救急搬送を受け入れるためには、産科に加え麻酔科や放射線科など診療科をまたいだ連携が不可欠だ。近藤教授は「すぐに総合病院でハイリスク妊婦を受け入れる

のは難しい」との見方を示す。その上で、「労災病院にも協力してもらいながら、将来的に総合病院で小児科を含めた高度医療を提供できるようにしたい」としている。  
(志賀業里耶)



熊本大病院(熊本市)は、八代市の熊本労災病院への産科医派遣を来年3月末で

熊本総合病院の「産科婦人科」の外來入り口。10月から妊婦健診を始める1121日、八代市